

活動報告（3月レポート）

担当：農村整備課

表題：親子と一緒にホタルの幼虫放流会（和地ふるさと会）【ふじのくに美しく品格のある邑】

日時：令和6年3月17日（日）

場所：静岡県浜松市中央区



（当日の様子）

3月17日（日）、ふじのくに美しく品格のある邑に登録されている和地ふるさと会（浜松市中央区大山町）が、ゲンジボタルの幼虫の放流会を地域の親子連れ25人と共に行いました。

和地ふるさと会は4つの団体で構成されており、個々に稲作体験やホタルの生息環境の整備、河津桜や菜の花畑の整備、知久屋との協働活動を行っています。今回は、西大山地区の方々がホタルの幼虫とその餌となるカワニナを用意し、遊休農地となっていた田んぼを利用した小川に放流しました。

参加者は、初めて見るホタルの幼虫やカワニナに緊張しつつも、放流する頃には元気に成長してほしいとエールを送っていました。また、メダカやオタマジャクシ、カエルの卵も観察でき、親子や地域の方々との会話も自然と増え、春の陽気のように和気あいあいとした雰囲気でした。

最後に、卒業して中学生になったとしても、いつでも遊びにおいでという言葉が印象的でした。放流したホタルは、5月下旬～6月中旬頃に成虫を見ることができると予定です。

西部農林事務所は、子どもの第3の居場所となっている当組織の活動を今後も支援していきます。